

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安全・安心な「里」づくり事業
事業主体 (連絡先)	阿智村 智里西自治会 (阿智村智里 4235 自治会長：渋谷博亮 TEL0265-44-2068)
事業区分	安全・安心な地域づくり事業
事業タイプ	ハード
総事業費	¥366,310円 (うち支援金：¥222,000円)

事業内容

AED(自動体外式除細動器)を智里西児童館に設置し、有事の際にこれを使用し、人命を救う。木賊の月見祭り、火渡護摩、運動会などのイベント、プール監視にも積極的に準備し、有事に備えた。

尚、設置にあたり、地元間伐材を使用し、警報器を備え、厳寒期でも機能に支障とならない設置箱を製作、設置した。

さらに、救命講習会を4回開催し、住民にAEDの使用法、並びに新ガイドライン2005に対応した救命処置を学習させ、バイスタンダー人材育成を図った。



【智里西児童館AED設置状況】

自己評価(事業実施率)【 A 】

事業効果

・観光客が多く訪れる当地域にAEDを設置したことで、有事の際に対応が可能となり、地域の安心が確保できた。

・AEDという救命器具が設置されたことで、住民が関心を持ち、存在を身近に感じ、講習会に参加してバイスタンダーの育成ができた。(受講者37名)

・地区のイベント(3回)、プール監視(18日間)にも積極的にAEDを準備し、有事に備えたことで住民はもとより、観光客に安心な地域をアピールできた。

【目標・ねらい】

- 地域の安心の確保
- 住民の救命啓蒙
- バイスタンダーの育成
- 観光客への安心な地域をアピール

自己評価(目標達成率)【 A 】

今後の取り組み

・購入時期が6月だったことから、春の一大イベント「花桃祭り」「駒つなぎ桜祭り」には間に合わなかったため、21年度からはすべてのイベントに準備し、有事に備える。

・救命講習会もこれで終わりではなく、新規講習、再講習を毎年行いながら、バイスタンダーのさらなる育成を図っていく。

・AEDの管理責任は自治会が担当し、定期点検を行い、消耗品であるパッド、バッテリーを予算付けし、購入交換し、AEDが有効に活用できるよう維持管理を行っていく。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。